

問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課専門官 霜鳥 史郎

電話 022-363-0111 (内線2511)



平成25年5月31日

第二管区海上保安本部

測量船「明洋」を報道関係の方々へ公開します

気仙沼湾において水深測量及び潮流観測を実施する測量船「明洋」を報道関係の方々へ公開し、潮流観測に用いる流速計やこれまでの水深測量で得られた海底の記録などを紹介します。

海上保安庁では、東日本大震災で被災した港湾について、復旧・復興のため水深測量などを実施し、海図の改訂を進めています。

6月1日から6月23日までの間、測量船「明洋」（船長 山崎和仁）により、気仙沼湾で精密な水深測量を実施するほか、この測量にあわせ、海図へ潮流情報を記載し利便性の向上を図るため、同湾内に超音波流速計(※)を設置して潮流観測を実施する計画です。

この度、測量船「明洋」が観測資機材積み込みのため、仙台塩釜港に寄港する予定となっておりますので、超音波流速計やこれまでの水深測量で得られた海底の記録などを報道関係の方々へ公開します。

また、6月21日は国際水路機関(IHO)の設立日を記念した「世界水路の日」です。今般の公開にあわせて、海洋情報業務を広く紹介いたします。

(※)超音波流速計:ブイなどを海水中に設置し、超音波を発振、海中の浮遊物で反射し戻ってきた超音波を受信することにより、海水の流れを観測する機器

記

1. 公開日時 平成25年6月13日(木)午後1時~午後2時
2. 公開場所 塩釜市貞山通(詳細については、後日連絡します)
3. 申し込み要領 取材を希望される社は、6月7日(金)まで、当本部海洋情報部あて、別添申し込み用紙により連絡をお願いします。
4. その他 天候等による観測計画の変更により、公開日時が変更又は中止となる場合があります。その場合は、申し込みをされた報道関係の方々へは事前に連絡します。

測量船「明洋」と気仙沼湾での水深測量及び潮流観測について

測量船「明洋」と気仙沼湾での水深測量及び潮流観測の概要は次のとおりです。

○測量船「明洋」

- ・総トン数 550トン
- ・主要寸法 60×11×5m
(全長×巾×深さ)
- ・速力 約15ノット
- ・航続距離 約5,000海里(約9,000km)
- ・主要観測機器 複合測位装置
マルチビーム測深機
投下式水温計
超音波流速計

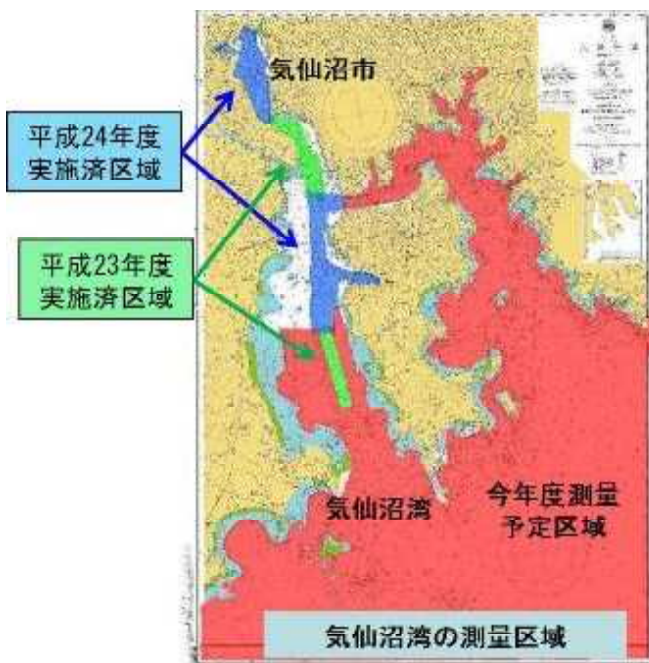


○気仙沼湾での水深測量について

- ・区域：右下の測量区域図に示すとおり
- ・期間：6月1日から6月23日まで
- ・概要：今回は、測量船「明洋」の搭載艇により、マルチビーム測深機を使用して、主に気仙沼湾東湾付近の水深測量を実施します。

本年4月21日から5月13日までの期間にも測量船「天洋」により同区域の水深測量を実施しました。

本年7月～8月にも同区域の水深測量の実施を予定しております。



気仙沼湾潮流観測のお知らせ

1 観測予定期間

平成25年6月中旬から8月上旬

2 観測予定位置

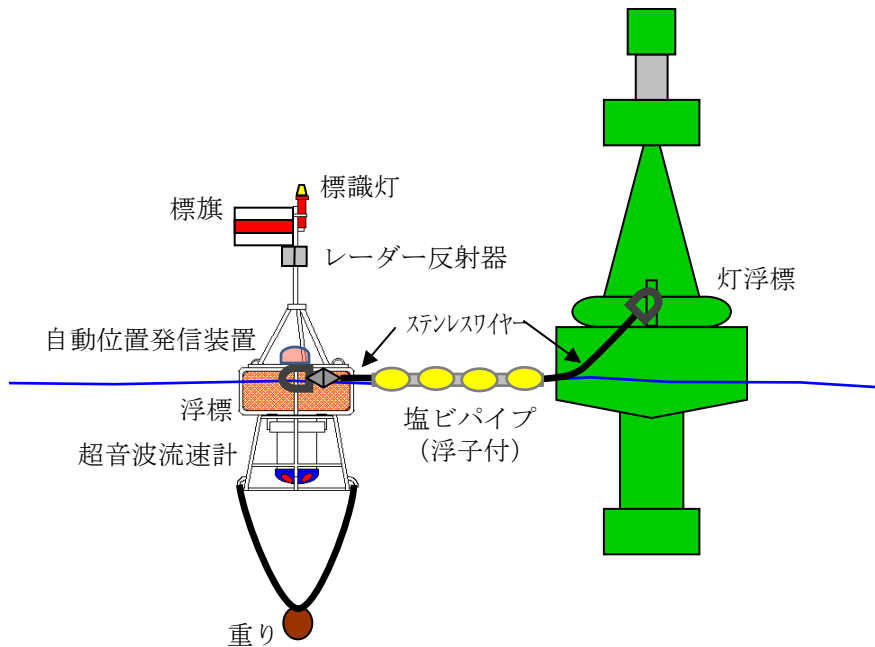
「流速計設置位置図」を参照

3 流速計設置概要

気仙沼西湾第五号灯浮標に 超音波流速計を係留し、
 流向・流速・水温を連続観測します。
 設置及び揚収作業は測量船及び同搭載艇にて実施します。

4 連絡先・問い合わせ先

第二管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課
 TEL:022-363-0111(内線2535,2536)

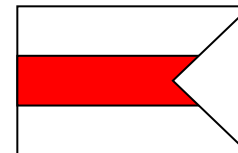


流速計設置要領図



流速計設置予定地点
 (気仙沼湾西湾第五号灯浮標)

流速計設置位置図

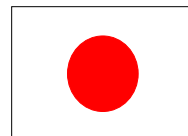


測量船及び同搭載艇(上画像)には、
 水路業務法第17条に定めた白紅白の
 燕尾旗(左記)を掲げます。



World Hydrography Day

～世界水路の日～



「世界水路の日」は、船舶交通の安全と海洋環境の保全に不可欠な水路業務の重要性を、国際水路機関とその加盟国が一般の人々に広く啓発することを目的として、2005年11月の国連総会において採択されたものです。国際水路機関の設立日である6月21日が、「世界水路の日」として定められました。

国際水路機関

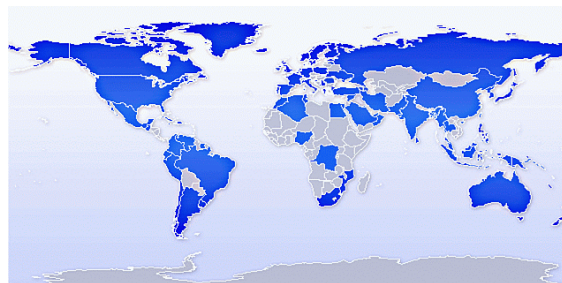
1921年6月21日、各国水路機関の協力促進を目的として「国際水路局」が設立されました。その後1970年に「国際水路機関条約」が発効し国際水路機関となりました。目的は海図等の水路図誌の統一により航海を一層容易かつ安全にすることです。



モナコにある
国際水路機関事務局ビル

国際水路機関加盟国

2013年6月現在の加盟国は81ヶ国です。主な加盟国には、米国、英国、フランス、中国、韓国があります。



国際水路機関加盟国一覧

国際水路会議

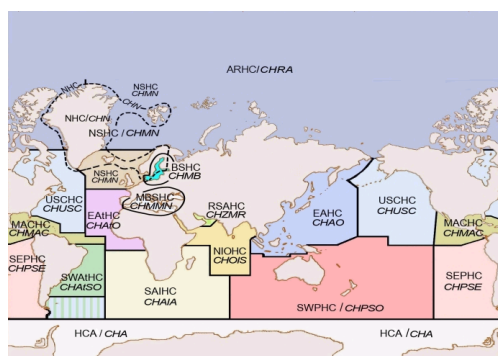
5年に一度、国際水路機関全加盟国が参加する「国際水路会議」が開催されます。



昨年4月に開催された第18回目となる会議では加盟国から69カ国、300名以上が出席

地域水路委員会

IHOには15の地域水路委員会があり、日本は、東アジアに設立された水路委員会に当初から加盟し常設事務局として活動しています。



取材申し込み用紙

申込先 第二管区海上保安本部 海洋情報部
F A X 022-365-1341
電話 022-363-0111 (内2511)

測量船「明洋」取材申込

会社名

氏名

電話番号

F A X 番号

(取材場所等を、記載の F A X へ連絡いたします。)